

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2018年度事業報告

I 概要

2018年度はアジア競技大会でパラグライダー クロスカントリー競技において男子チームが金メダル、女子チームが銀メダルという高成績をあげました。これはテレビや新聞等で報道され、各選手の地元でも大きくとりあげられました。しかし、残念なことにパッセンジャーに大きな被害を与えたパラグライダータンデムによる事故が2件続けて発生してしまいました。安全面ではパイロット安全セミナーを13カ所で開催し、プレフライトチェックを徹底するためのチェック5タグの配布、夏季休暇期間に事故ゼロキャンペーン等の安全啓蒙活動を行いました。今後も安全対策には力を入れていく必要があります。JHFの制度としてはタンデムの技能証規程を改正し第一回上級タンデム検定会を開催しました。

1. 収支の現状

2018年度でも、公益目的事業基金の取り崩しは行いませんでした。期中に制度変更対応などの予定していなかった事業支出がありましたが、前年度の決算で次期繰越金が予算作成時の想定以上であったので、手元資金を使い切るくらいで運営資金補充には至りませんでした。安全意識啓蒙など、今年度は、フライヤー個人に届くような施策にお金をかけましたが、これからも3年程度は同様な費用を安全施策に充てられます。JHFの財政力のあるうちに、実質的な効果を得られることを期待しています。

2. 組織運営等

- 1) PG・MPGパイロット安全セミナーを開催 13カ所
- 2) 教員検定員による教員助教員更新講習会を11カ所で開催、65名が受講
- 3) レスキューパラシュートリパック更新講習会を10カ所で開催、39名が受講
- 4) 教員技能証学科検定については集合研修検定を2月15日～17日に開催
8名受検、2名合格
- 5) 第1回上級タンデム検定会を開催 61名受検、合格 HG 8名、PG 30名
- 6) 7月31日～8月19日 事故ゼロキャンペーンを実施（チェック5タグ配布）
- 7) 第5回JHFフォトコンテストを開催

3. 特記事項

- 1) 第41回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月28日（土）～29日（日） 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 平成30年度一般財団法人日本航空協会「空の日」航空関係者表彰式が開催（9月20日）
され、アジア競技大会のパラグライディング日本選手団（クロスカントリー競技の男子団体金メダル、女子団体銀メダル）が「多くの人びとに航空スポーツの魅力を伝えることに貢献」したことにより「空の夢賞」を受賞した。
ハンググライダーの服部良亮選手に日本記録証が授与された。
 - ・直線距離 393.7km（2018年1月2日） オーストラリア
 - ・目的地直線距離 388.8km（2018年1月2日） オーストラリア
 - ・三旋点距離 166.4km（2018年1月4日） オーストラリア
- 3) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」に

東京都ハング・パラグライディング連盟（8月4日～5日）、群馬県ハング・パラグライディング連盟（9月15日）、茨城県ハング・パラグライディング連盟（2019年3月23日）が協力

4) 後援イベント／体験会

10月21日（日） 埼玉スカイスポーツフェスタ 埼玉県熊谷市妻沼滑空場
（ハンググライダー、パラグライダー体験とデモフライト）

5) 第24回スカイスポーツシンポジウムを協賛

12月 1日（土） 都立産業技術高等専門学校（荒川校舎）汐梨ホール

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

ア 正会員 47

イ フライヤー会員 7, 247名（2019年3月末有効登録数）

ウ 賛助会員 12

(2) 役員構成

理事 9名（内会長1名、副会長2名） 監事 1名（2019年3月末現在）

2. 会議等の開催

(1) 総会

2018年 6月通常総会
開催通知 2018年4月 4日（水）
開催日 2018年6月18日（火） 11:00～17:00
開催場所 北とぴあ 7階・第二研修室
（東京都北区王子）

議案 報告事項1 2017年度事業報告について
報告事項2 2017年度決算報告について
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について
報告事項3 2018年度事業計画について
報告事項4 2018年度収支予算について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月16日（出：理事8、監事1）
イ 第2回理事会 開催日 8月30日（出：理事9、監事1）
ウ 第3回理事会 開催日 12月 5日（出：理事8、監事1）
エ 第4回理事会 開催日 1月26日（出：理事9、監事1）
オ 第5回理事会 開催日 2月 4日（出：理事9）
カ 第6回理事会 開催日 3月 5日（出：理事9、監事1）

文書理事会 開催日 6月4日、6月26日、8月3日、9月13日、10月15日、
10月18日、12月20日、1月7日、1月10日、3月25日

(3) 委員会

ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施
イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施

ウ	補助動力委員会	12/17
エ	教員・スクール事業委員会	4/10、6/5、11/13、1/11、 1/25
オ	安全性委員会	5/18、7/25、1/18
カ	制度委員会	7/5
キ	ハングパラ振興委員会	6/5、10/3、3/28
ク	役員選任実行委員会	5/21、1/31
ケ	委員長理事合同会議	2/19

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）

（独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています）

イ 都道府県連盟事業費の交付

ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2018年度 5,510名（新規・更新）

2017年度 5,668名

(3) 技能証発行

ア HG： 216枚（2017年度 210枚）

イ PG： 868枚（2017年度 1,034枚）

ウ MPG： 14枚（2017年度 17枚）

エ レスキューリパック認定証 57枚（新規16・更新41）

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG： 16件（内FAIカテゴリーI・II：6件）

イ PG： 28件（内FAIカテゴリーI・II：2件）

ウ HG・PG同時開催： 6件

(5) 競技会の開催

ア HG：

1 日本選手権

11月22日～25日 静岡県 富士宮市 西富士友の会エリア
参加50名

日本選手権者：大門浩二 女子日本選手権者：不成立（人数不足）

2 クラスV日本選手権 2018年3月30日～4月1日

茨城県 石岡市 足尾山エリア 参加11名 日本選手権者：板垣直

樹

3 ハンググライダーディングシリーズ（参加人数78名）

第1位 鈴木博司 女子第1位：佐野容子

4 ハンググライダーディングフライトコンテスト

フリーディスタンス クラスV 1位 岡田伸弘（149.94km）

クラスI 1位 石坂繁人（173.63km）

アウトアンドリターン クラスV 1位 林寺 仁（103.21km）

クラスI 1位 石坂繁人（104.82km）

トライアングル クラスV 1位 山本 剛（93.34km）

クラスI 1位 石坂繁人（95.03km）

デュレーション クラスV 1位 林寺 仁（5:08:20）

クラスI 1位 鳥羽岳太（9:57:39）

イ PG :

1 日本選手権

9月21日～25日 茨城県 石岡市 足尾山エリア
参加79名 不成立

2 アキュラシー日本選手権

11月10日～11日 栃木県 小山市 小山絹滑空場
参加31名

日本選手権者：和田浩二 女子日本選手権者：伊藤まり子

3 ジャパンリーグ(参加人数115名)

オープンクラス 1位：成山基義

オープンクラス女子 1位：山下敦子

スポーツクラス 1位：小林大晃

ジャパン2リーグ(参加人数79名)

総合 1位：辻本恵一

女子 1位：橋本 泉

クロスカントリーリーグ(34名 138本)

1位：中川喜昭(457.4km)

最長フライト

中川喜昭(146.5km)

アキュラシージャパンリーグ(参加人数33名)

スクラッチクラス 1位：和田浩二

スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子

ハンディキャップクラス 1位：和田浩二

学生クラス 該当者なし

チーム 1位：Airkassy

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア スクールサイト登録校 165件 (うち新規登録校2件)

イ エリア情報掲載 175件 (削除2件)

(7) 海外関係団体活動

ア CIVL総会 2019年1月31日～2月3日 スイス

出席者：デレグイト 岡 芳樹、教員・スクール事業委員長 北野正浩

(8) 世界選手権等へのチーム派遣

ア 第8回FAIハンググライダーディングクラスV世界選手権

参加選手：6名

7月10日～20日 マケドニア

イ 第1回FAIアジア・オセアニア・パラグライダーディング・アキュラシー選手権

参加選手：5名

4月3日～12日 タイ

ウ 第18回アジア競技大会

参加選手：8名

8月18日～9月2日 インドネシア

(9) その他

ア 機体型式登録 0件 (PG 0件、HG 0件)

イ 機体情報登録 0件 (PG 0件、HG 0件)

添付： 2018年度 委員会活動報告補足

以上

＜ 2018年度委員会活動報告補足 ＞

ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施
- 3) ライブトラックの競技導入により集計の簡略と安全運営の両立
- 4) 第8回FAIハンググライディングクラスV世界選手権選手派遣（マケドニア クレシェボ）
2018年7月10日～20日 約33名参加、日本から6名
板垣直樹 7位、岡田伸弘 12位、宍戸孝之 17位、松田隆至 22位、
太田昇吾 23位、柳田崇 28位 国別 3位
- 5) 2018年ハンググライディング・クラスI日本選手権開催（静岡県 富士宮市 西富士友の会エリア）
2018年11月22日～25日 50名参加 タスク3本成立・日本選手権成立
日本選手権者：大門浩二
2位 氏家良彦、3位 太田昇吾、4位 鈴木由路、5位 鈴木博司、6位 板垣直樹
女子1位 佐野容子、2位 谷古宇 瑞子、3位 櫻井さやか
- 6) 2018年クラスV日本選手権開催（茨城県 石岡市 足尾山エリア）
2018年3月30日～4月1日 11名参加。タスク3本成立
日本選手権者：板垣直樹、2位 山本剛、3位 宍戸 俊之
- 7) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 78名
1位 鈴木博司、2位 板垣直樹、3位 田中元気
女子1位 佐野容子、2位 櫻井さやか、3位 谷古宇瑞子
- 8) ハンググライディングXCリーグに変わってフライトコンテストを開始
フリーディスタンス
クラスI 1位：石坂繁人 173.63km 2位：牟田園明 167.80km 3位：氏家良彦 106.15km
クラスV 1位：岡田伸弘 146.94km 2位：佐々木則生 143.13km 3位：板垣直樹 134.3km
アウトアンドリターン
クラスI 1位：石坂繁人 104.82km 2位：砂間隆司 88.55km 3位：氏家良彦 67.95km
クラスV 1位：林寺 仁 103.21km 2位：松田隆至 103.11km 3位：山本剛 89.2km
トライアングル
クラスI 1位：石坂繁人 95.03km 2位：十一 誠 56.46km 3位：板垣直樹 52.62km
クラスV 1位：山本 剛 93.34km 2位：松田隆至 85.23km
デュレーション
クラスI 1位：鳥羽岳太 09:57:39 2位：大沼浩 08:56:34 3位：松田隆行 08:49:47
クラスV 1位：林寺 仁 05:08:20 2位：柳田 崇 04:50:56 3位：山本 剛 04:27:56
- 9) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂

2) WEB事務局・ホームページ管理

3) 第1回アジア・オセアニア・パラグライディング・アキュラシー選手権

(タイ、Pa Sak Jolasid Dam, Saraburi Province : 4月3日～12日)へ選手派遣

(男子5名:岡 芳樹、横井清順、古田岳史、平野竜二、古賀光晴)

総合1位: ジャンウエイ・ワン (中華人民共和国) 2位: タナパット・ルアンジャム (タイ)、

3位: ホンジ・ワン (中華人民共和国)、18位: 岡、28位: 古田、30位: 古賀、

33位: 横井、35位: 平野

女子1位: チャンチカ・チャイサク (タイ)、2位: ジンウェン・ロン (中華人民共和国)、

3位: ヌナパット・プチョン (タイ)

国別1位: タイ、2位: 中華人民共和国、3位: 台湾、5位: 日本

4) 第18回アジア競技大会 (インドネシア、ジャカルタ・パレンバン: 8月18～9月2日)へ選手

派遣 (男子5名、女子3名: 岩崎拓夫、上山太郎、呉本圭樹、中川喜昭、廣川靖晃、平木啓子、望月奈緒、山下敦子)

XC団体男子 1位: 日本、2位: ネパール、3位: インドネシア

XC団体女子 1位: 大韓民国、2位: 日本、3位: インドネシア

アキュラシー団体男子1位: インドネシア、2位: 大韓民国、3位: タイ、9位: 日本

アキュラシー団体女子1位: タイ、2位: インドネシア、3位: 大韓民国、5位: 日本

アキュラシー個人男子1位: ジャフロ・メガワント (インドネシア)、2位: ジラサック・

ウィッティータム (タイ)、3位: チュルソー・リー (大韓民国)、12位: 呉本、17位: 廣川

アキュラシー個人女子1位: ヌナパット・プチョン (タイ)、2位: ダギョン・リー (大韓民国)、

3位: リカ・ウイジャヤンティ (インドネシア)、8位: 平木、12位: 山下

5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・Jリーグ結果 (参加人数115名)

オープンクラス 1位: 成山基義、2位: 上山太郎、3位: 呉本圭樹

オープンクラス女子 1位: 山下敦子、2位: 中目みどり、3位: 望月奈緒

スポーツクラス 1位: 小林大晃、2位: 田中 健、3位: 氏田敏彦

・J2リーグ (参加人数79名)

総合 1位: 辻本恵一、2位: 岩谷勝弘、3位: 橋本 泉

女子 1位: 橋本 泉、2位: 坂本智春、3位: 田村康子

・XCリーグ (34名、138本)

1位: 中川喜昭 (457.4km)、2位: 二三四藤昭 (453.9km)、3位: 多賀純一 (443.0km)

最長フライト: 中川喜昭 (146.5km)

・AJリーグ (参加人数33名)

スクラッチクラス 1位: 和田浩二、2位: 岡 芳樹、3位: 古田岳史

スクラッチクラス女子 1位: 伊藤まり子、2位: 橋本みさ紀、3位: 平木啓子

ハンディキャップクラス 1位: 和田浩二、2位: 古賀光晴、3位: 古田岳史

学生クラス 該当者なし

チーム 1位: Airkassy、2位: 空とも、3位: のびのび

6) 2018年度XC日本選手権開催 (茨城県 石岡市 足尾山エリア) 9月21～25日

タスク1本成立/4日 79人参加 規定により日本選手権として不成立

総合1位：上山太郎、2位：中村浩希、3位：青木和広、4位：高杉慎吾、5位：呉本圭樹、
6位：吉田和博

女子1位：望月奈緒、2位：金本知子、3位：中目みどり

スポーツクラス1位：金本知子、2位：青木政昭、3位：小林大晃

7) 2018年度アキュラシー日本選手権開催(栃木県 小山市 小山絹滑空場) 11月10～11日
6ラウンド成立 31人参加(オープン参加の6名含む) 規定により日本選手権として成立。

オープン総合1位：ジフン・ヨー(大韓民国)、2位：ジュンミン・リー(大韓民国)、
3位：和田浩二、4位：ダギョン・リー(大韓民国)、5位：岡 芳樹、6位：小松理樹。

日本選手権総合1位：和田浩二、2位：岡 芳樹、3位：小松理樹、4位：古田岳史、
5位：川村 眞、6位：塚原隆信。

日本選手権女子1位：伊藤まり子、2位：中目みどり、3位：菊田久美。

安全性委員会 委員長 伊尾木 浩二

1) 2018年度事故件数 PG 26件(内重大事故3件)

HG 4件(内重大事故0件)

2) 機体登録制度の推進

3) PG・MPGパイロットセミナーの開催実績

2月24、25日 PG 広島県連盟 安全セミナー 30名 目黒

3月17日 MPG 石川県連盟 安全セミナー 10名 伊尾木

3月18日 PG 石川県連盟 安全セミナー 45名 伊尾木

6月 3日 PG 群馬県連盟 安全セミナー 30名 伊尾木

7月 7日 MPG 北海道 安全セミナー 15名 須藤

7月 7日 PG 奈良県連盟 安全セミナー 20名 福田

7月21日 MPG 長崎県連盟主催佐賀県安全セミナー 20名 西本

9月23日 MPG 滋賀県長浜市 安全セミナー 20名 橋田

11月18日 PG 群馬県連盟 安全セミナー 20名 伊尾木

11月11日 MPG 大分県 安全セミナー 15名 橋田

12月10日 MPG 埼玉県東松山 安全セミナー 10名 伊尾木

12月16日 PG 長崎県連盟 安全セミナー 20名 西本

1月19日 PG 宮崎県 安全セミナー 15名 西本

4) セーフティーノーツの管理(担当：竹村)

・定期的に管理し、可能な範囲HPに反映

5) ハング機体整備制度・現状調査(担当：西本)

6) 安全性委員会HP状況管理(担当：伊尾木)

・定期的に確認

7) 事故情報アンケート調査実施(全国スクールおよびクラブエリア宛て)

8) チェック5タグの制作と配布(安全注意喚起用)

【5項目】レスキューピン、ラインチェック、バックル(レッグ→チェスト)

無線機(通信→ロック)、風の状況

教員・スクール事業委員会 委員長 北野正浩

- 1) 教員実技検定会 PG 5名 HG 0名
- 2) 教員学科集合検定(2019年2月15日~17日)参加者9名
(受検PG7名、HG1名。現役PG教員1名が勉強のため参加)
- 3) 教員助教員更新講習会 11カ所 65名受講
- 4) レスキューパラシュートトリパック認定証検定 新規認定16名
- 5) レスキューパラシュートトリパック認定証更新講習会 10カ所39名受講
- 6) PG教本改訂作業(最終校正段階)
- 7) HG教本作成(校正作業中。制度委員会による確認も必要)
- 8) タンデム技能証規程を改正し上級タンデム技能証を新設。第1回講習検定会を2019年3月12日~14日に開催
- 9) パイロット証更新制度導入案の作成
- 10) チェック5タグの制作と配布(安全性委員会と合同)

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) 2018年度事故件数 MPG 3件(内重大事故0件)
- 2) MPGパイロット安全セミナー開催
 - 3月17日 MPG 石川県連盟 安全セミナー 10名 伊尾木
 - 7月7日 MPG 北海道 安全セミナー 15名 須藤
 - 7月21日 MPG 長崎県連盟主催佐賀県安全セミナー 20名 西本
 - 9月23日 MPG 滋賀県長浜市 安全セミナー 20名 橋田
 - 11月11日 MPG 大分県 安全セミナー 15名 橋田
 - 12月10日 MPG 埼玉県東松山 安全セミナー 10名 伊尾木
- 3) MPG全国大会開催
 - ・イベント競技として九州大分県で実施(11月10, 11日)参加者15名
 - ※当初の予定日は台風の影響でキャンセルし延期。
- 4) 事故撲滅キャンペーンを実施(教員・スクール事業委員会開催内容と同時期)
- 5) 下総航空基地周辺飛行安全会同安全同への参加(2月)
- 6) 補助動力委員会ホームページの管理
- 7) レスキューパラシュートトリパック講習会開催

制度委員会 委員長 中瀬 誠

- 1) JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
 - ー 理事会諮問事項への答申等
 - ・規約改正案2点作成と総会決議事項の理事会上程
 - JHF総会傍聴規約
 - JHFおよび都道府県連盟プライバシーポリシー規約
 - ・規程改正案作成と理事会上程

JHF正会員（都道府県連盟）助成金事業交付規程

JHFにおける諸規定作成管理要領

JHF宮原賞に関する規程

JHF名誉会長・名誉顧問・顧問選任規程

JHF名義使用承認規程

JHF事故調査専門員規程

JHF事業実施指針

JHF事業実施指針細則

JHF日本学生フライヤー連盟助成事業交付規程

- ・ JHF HP上の総覧整備（規程改正およびF A I部分）

<https://jhf.hangpara.or.jp/office/office.html>

- ・ 上級タンデム技能証名称案上程

ー F A I 技能記章、公式立会人に関する事項の研究

- ・ ハングライダー公式日本記録申請支援

2) 他委員会および事務局との連携

- 各種制度導入および改定について教員・スクール事業委員会と検討

- ・ タンデム技能証改正ならびに上級タンデム技能証新設 技能証規程改正案作成し理事会提出

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

1) 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討(継続)

- フライヤーズボイスの定期更新体制の運用と継続的見直し
- 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析
- 学生が卒業して止めてしまう問題の分析と対応策検討(学連と連携)
- 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ(仮称)」制作、学生向けに配布開始
- JHF レポートの活用検討(特集記事など)

2) 体験会等イベントへの協力

- 体験会を安全に実施するための指針検討(安全性委員会と連携)

3) 外部組織との連携

- VR体験に関する大学研究室との協力体制維持

4) HG教本およびPG教本改訂への協力

役員選任実行委員会 委員長 鈴木 由路

1) 2019年度総会における役員選任の準備